

シドスのための祈り

Adsumus Sancte Spiritus

(聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立っています)

聖霊よ、
わたしたちは あなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。
わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住みください。
わたしたちに進むべき道を示し、どのように歩めばよいか教えてください。
弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。
わたしたちが無知によって誤った道に引き込まれず、
偏見に惑わされないよう導いてください。
わたしたちがあなたのもとに一致することができますように。
わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、真理と正義の道を迷わずに
歩むことができますように。このすべてを、いつどこにおいても
働いておられるあなたにお願ひします。
御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。



1

あなたがたはわたしの証人となる

(使徒言行録 1:8)

Step 1: 福音を読み聖霊を願う

「聖霊が福音降った直後、それまで弱気で、怖がり、内向きだったイエスの弟子たちは、すべての人の前でキリストをあかしする勇氣と知恵を与えられました。わたしたちは聖霊とともに日常を生き、聖霊の力と靈感をつねに受けるよう求めましょう。疲れたり、やる気がなかったり、途方に暮れていたりするときこそ、祈りの中で聖霊に助けを求めることを忘れないようにしましょう。繰り返しますが、聖霊は、福音をのべ伝え、主への信仰を告白するためにわたしたちがもちうる唯一の力です。」

教皇フランシスコ

(2022「世界宣教の日」メッセージ 抜粋)



全世界の教会に思いをはせながら、
祈りの心の旅を始めましょう。
毎週一つの大陸とそこで生きている
兄弟と姉妹と共に祈りましょう。

主よ、
アフリカのすべての民への尊敬と愛のまなざしを
お与えください。この大地の苦しみとその豊かさを
あなたにゆだねます。アフリカの兄弟姉妹たちから
温かいもてなしと素朴な生活を学びますように。アーメン。

シノドス

世界に開かれた、神が望まれる教会に成長していくために、1967年、教皇パウロ6世は全世界の司教たちの代表による「世界代表司教会議」を開催した。この会議は「シノドス」と呼ばれ、それはギリシャ語で「共に歩む」という意味。以来これまでのすべてのシノドスも全信者が「共に歩む」ことを目指し、開催にあたっては広く信者の意見や思いを聴きながら、準備されたが、第二バチカン公会議の精神やシノドスの目指すところがまだ不十分であったことは事実。教皇フランシスコはこの現状を直視し、今回(第16回)のシノドスのテーマを、原点に戻って「共に歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教」とした。

教皇は、世界中の信者に、2023年10月にバチカンで開催されるシノドスの本会議に向けて、準備段階から参加するよう呼びかけ、その開幕ミサが今年の10月、教皇の司式によって行われた。



出向いて行く教会になるために

福岡教区の「宣教司牧方針」から N。(1)①

- 人ひとり、また家庭で祈ること
- 福音を読んで、分かち合うグループに参加する

主日の福音から黙想のヒント

わたしどもの信仰を増してください」(ルカ17.5-10)

宣教者はキリスト者と同じく信仰の賜物から生まれる。
聖霊の働きかけで人が神のしもべであることを悟る。
主のおっしゃる言葉を遂行するほか何も求めない。

一緒に祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 宣教の月にあたって、一人ひとりが福音を告げる前にキリストの言葉を信じ、愛し、その実現を望みますように。
- ☆ 教皇フランシスコとの交わりの中で行われる宣教の活動が世界中のキリスト者の一致から始まりますように



宣教のロザリオ
アフリカのためにロザリオの
一連を唱えましょう